

資料3

令和5年度第1回（11月10日開催）行政改革推進委員会での 質問・提言に対する市の考え、取組について

No.3 情報発信の充実（シティプロモーション課）

【提言内容まとめ】

番号	質問事項	市の考えや取組内容
1	市ホームページにおいて、身近な事例に対処するため、得たい情報にすぐにたどり着けるような掲載に努めていただきたい。	チャットボット（質問を入力すれば自動でAIが回答する）のシステムを導入しています。 市ホームページは令和6年7月からトップ画面をリニューアルし、「情報を探す」の項目を新たに作成し、「キーワードによる検索」「チャットボットによる検索」「検索の多い項目」「ライブシーンに応じた検索」など様々な検索方法を掲載しています。
2	最近が高齢者もほとんどがスマートフォンを持っているが、ホームページやSNS等は取り扱いづらいため、広報など、簡単に必要な情報に入り込める方法をPRしてほしい。	現在、スマートフォンを使用している方は増えている認識もあり、より詳しい情報への誘導としてQRコードを掲載し、より容易に情報を得られるよう工夫しています。
3	若い世代や外国籍の方などスマートフォンの活用が多い人向けに、LINEを充実するといい。	LINEでの情報発信も重要と考え、多くの情報を発信するよう努めています。
4	二世帯住宅など必要な世帯に対しては、広報あいさいを2部配布してほしい。	原則、一世帯に1部の配布となります。市では各地域からの必要部数の報告に応じ、対応しています。
5	SNSでは若い方をターゲットに、市のアニメキャラを通してまずは知ってもらうなど、ターゲット層や戦略を持って効果的な情報発信をすべきである。	令和6年度にシティプロモーション戦略を策定することとし、効果的なプロモーション・情報発信の手法等について検討します。 「あいさいちゃん」を活用したYou Tube動画をSNSでさらに周知・展開してまいります。
6	Instagramの利用はしないのか。様々な媒体での発信を。 また、コンテンツの充実を図っていただきたい。	愛西市公式Instagramの開設に向け、準備しています。 令和6年度にシティプロモーション戦略を策定する中で、全庁を挙げてシティプロモーションを推進するという意識を醸成してまいります。
7	木曾川の景色・歴史などの観光資源を活用し、人を呼び込む取組をすすめるなど、PRする情報の内容を再検討するべきではないか。 情報発信のソースを更に開発してほしい。	令和6年度にシティプロモーション戦略を策定することとし、地域資源の洗い出し、磨き上げを行い、戦略的に情報発信していく手法について検討してまいります。
8	小さなまちの観光協会でも旅行業界へ情報発信をされている方はいる。まずは知ってもらうことが大事。	令和6年度に策定するシティプロモーション戦略では、行政だけでなく、市民、観光協会を始めとした各種団体、企業など、様々な主体が効果的な情報発信を行っていくことについて、検討を進めてまいります。

番号	質問事項	市の考えや取組内容
9	FM放送など、市の情報発信媒体について広報あいさいで紹介してはどうか。	毎号、広報あいさいの表紙に市公式SNSのQRコードを掲載しています。 FM放送等については広報あいさいの広告掲載を発信事業者が行い周知に努めています。市ではSNSでの周知について検討します。
10	市の外国人国籍の特性を把握した上で、多言語化に取り組んでほしい。	市ホームページの多言語対応について議論した結果、多くの国で共用語となっている英語対応のみとしています。
11	それぞれの媒体で情報がどの程度届いているか、アンケート等により確認できると良い。	シティプロモーション戦略を策定する中で実施するアンケート項目に追加することを検討します。
12	今までの枠組みをすべてはずして大胆に市民の情報ニーズに資するような工夫・創意をしてほしい。きめ細いニーズに早く、そして多くの情報で応えてほしい。	情報を発信したいターゲットの目に留まるよう、情報発信の手法や見せ方を工夫し、きめ細やかなニーズに応えてまいります。
13	高齢者（スマホ、パソコンの操作が苦手な人）への配慮をしてほしい。	広報あいさい、市ホームページ、各種SNSなど様々な媒体を活用し、それぞれの特性を生かして、ターゲットに合った情報発信を行ってまいります。
14	高齢の方向けにPC教室で、愛西市HPの見方を学べると良い。情報ツールを世代別にうまく使えると良い。	市の公共施設等において、スマホの使い方などの講座が開催されています。
15	ママ世代もインスタ使うので、子育てのことなどSNSで分かるとう良い。	市からの子育てに関するお知らせや予防接種の予定日などをスマホのプッシュ通知でお知らせするほか、子どもの年齢に応じた情報検索や利用したい施設の検索などが可能な「愛西市子育て応援アプリ あいさいっ子応援ナビ」を市では運営しており、SNSで周知を図ってまいります。
16	愛西市にはそもそも魅力的でPRできるものがない。まずPRできるものから作ると良い。 大きな公園があるだけでも子育て世代が愛西市に足を運ぶ機会になる。人が集まる何か一つ大きな魅力があれば、愛西市といえば「〇〇」になる。	当市の観光拠点、情報発信拠点として、さらに市民にとっても憩いの場、交流の場となる「道の駅 ふれあいの里HASUパーク」を、令和8年度のグランドオープンに向け整備を進めています。

令和5年度第1回（11月10日開催）行政改革推進委員会での
質問・提言に対する市の考え、取組について

No.41 健康なまちづくり事業の推進（健康推進課）

【提言内容まとめ】

番号	提言内容	市の考えや取組内容
1	学校を通じてチラシを配布したことが良い点である。今後も、子どもの健康に対する意識付けを継続してもらいたい。	子どもの健康に対する意識付けとして、市内小中学生を対象に実施しているあいさい健康マイレージ（チャレンジシート）については、今後も児童生徒の夏休み期間中の取組として市内小中学校と連携して配布します。
2	市民へ健康づくりのための宣伝として料理に関する情報を出しているが、これを市外にも広め、愛西市の宣伝に活用するとよい。	市外向けに現在、ラジオや地域情報誌等で事業の周知をしています。 今後は、シティプロモーションの観点から、観光協会やスポーツ施設等の関係機関との連携や、イベント等の情報発信を図ってまいります。
3	ごみゼロ運動のように、市民みんなが歩けるような日をつくるなどの取組があると良い。	各種イベント等と連携するなど検討したいと考えます。
4	ウォーキングコースにトイレや駐車場があるような配慮をすることで、全国や近隣市町村からもウォーキングをしにくる方がいるのではないかと。	現在のウォーキングコースについてもトイレや駐車場を考慮しているところですが、情報が古いことから、令和5年度から各ウォーキングコースを市民と実際に歩き道路状況等を確認するなど、コースの見直しや情報の更新を進めています。
5	愛知県庁自治センター1階の市町村が紙媒体を置けるコーナーにチラシなどを置いてみてはどうか。	令和6年度版のチラシができ次第、愛知県自治センターと海部県民事務所にチラシを設置する予定です。
6	ウォーキングロードマップの中身の正確さについて確認してほしい。	令和5年度から各ウォーキングコースを市民と実際に歩き道路状況等を確認するなど、コースの見直しや情報の更新を進めています。
7	ウォーキング出来ない人も多いため多くの市民を引っ張りだして参加させることを考えてほしい。 健康づくり（幅広い）→水中ウォーキング、体力レベル別指導など。	本事業は自身ができる範囲の健康な取り組みをマイレージを通して実施し、健康づくりのきっかけになることを目的としています。今後もあいさい健康マイレージ（チャレンジシート）を全戸配布し、周知してまいります。